

「長野県特別支援教育ICT・ATリソースセンター」の開所について

特別支援教育課

1 目的

障がいのある児童生徒等の教育的ニーズに応じたICT・AT(アシスティブ・テクノロジー)活用による支援拠点である「ICT・ATリソースセンター」を県内2か所に設置して支援することにより、将来の自立や社会参加に向け、「個別最適な学び」を実現する。

*AT(assistive technology):障がいによる障壁を、機器を効果的に利活用することで改善・克服する支援技術

2 設置場所

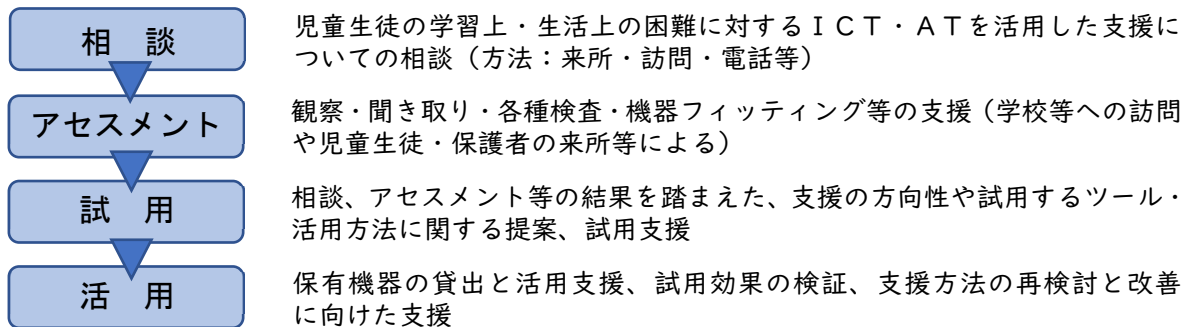
「長野県特別支援教育ICT・ATリソースセンター」

- 東北信センター 長野養護学校 三輪教室(長野ろう学校併設)内
- 中南信センター 松本ろう学校内 *担当教員:各1名

3 開所日 令和5年10月16日(月)

4 対象者 児童生徒(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)、保護者、教職員等

5 取組内容 ICTやATの利活用に関する「相談・アセスメント・試用・活用」等の支援



取組(支援)のイメージ

- 「重度心身障がい入院中の生徒」への支援
・入院中で学習内容・方法が限定、「視線で教師に要求を伝えたい」という願い ⇒訪問教育担任が、センターへ相談 ⇒センター教員が担任の行う訪問教育を見学・保護者聞き取り ⇒センターの「視線入力装置」活用で、コミュニケーション支援を提案 ⇒フィッティング調整(眼球と画面との距離)等を行い、活用。教師に視線で行いたいことを要求できた。
- 「読み書きが苦手な児童」への支援
・漢字の部首等の文字の要素や重なった図形の見分けが困難 ⇒学級担任がセンターへ相談 ⇒センター教員が、学習の様子を見学・担任から聞き取り ⇒センターの様々なアプリの中からニーズに合ったアプリ「視覚認知バランサー」を活用した学習を提案 ⇒形状識別や空間認識等の課題に繰り返し取り組み、読みに対する苦手意識が軽減、集中力が向上。

6 整備機器(例)

- ・ 先進的な機器: 「マジックカーペット」(床等にゲームやアクティビティを映写 ⇒ 知覚体験・遊び・セラピー等)
- ・ アクセシビリティ機器: 「視線入力装置」(視線でタブレット端末等を操作 ⇒ 持てる力を最大限伸ばすコミュニケーション)
- ・ 標準的なアプリ: 学習上の課題(例:読み・書き)克服に向けた標準的なアプリケーション群
- ・ アセスメントツール: LD等学習上の困難のある児童生徒の苦手な点等を把握するツール



相談コーナー



展示コーナー



マジックカーペット
(先進的な機器)



視線入力装置
(障がい特性に応じたアクセシビリティ)

ICT・ATリソースセンター

2023年10月16日

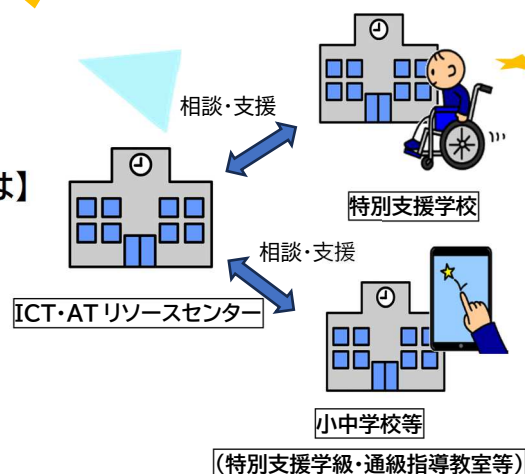
OPEN

【長野県特別支援教育ICT・ATリソースセンターとは】

障がいのある児童生徒が、自分にあったICTやATの活用を通して、より豊かな学校生活を送ることができるように応援する場所です。

*AT(assistive technology) :

障がいによる物理的な操作上の困難や障壁(バリア)を、機器を工夫して利活用することで改善・克服する支援技術



① 学習上・生活上の課題に対して、ICTやATを活用した解決方法を提案します

- <相談の例>
- ・ 肢体不自由のある子のコミュニケーション手段
 - ・ 読みの困難さの解決 視線入力装置の使用の可能性を探りたい

② ICTやAT機器を中心に、支援ツールの試用ができます

- <試用の例>
- ・ 視線入力装置トビーTDパイロット(iPadのための視線入力装置)
 - ・ 本人に合ったスイッチと固定具
 - ・ iPad用の各種アプリ

【利用申込】・・・お気軽にご相談ください。

【小・中・高校関係の方等】 まずは、メールにてご相談ください。こちらから連絡をいたします。

【特別支援学校関係の方】 まずは、各校のICT活用推進担当者にご相談ください。

【長野県ICT・ATリソースセンターの場所、メールアドレス】

○ 東北信センター
長野市三輪1丁目4番地9
長野養護学校三輪教室内(長野ろう学校併設)
ict.at.r.th@g.nagano-c.ed.jp

○ 中南信センター
松本市大字寿豊丘820
松本ろう学校内
ict.at.r.cn@g.nagano-c.ed.jp

【担当者】

リソースセンター担当教員

東北信センター

代表兼北信地区ブロックリーダー
青木 高光 (長野養護学校)

中南信センター

中信地区ブロックリーダー
柴田眞優美 (寿台養護学校)

ブロックリーダー

東信地区ブロックリーダー
山浦 雅史 (小諸養護学校)
南信地区ブロックリーダー
小室 惟 (飯田養護学校)

*ブロックリーダー：特別支援学校等のICT教育(全県4人)全般を支援するリーダー

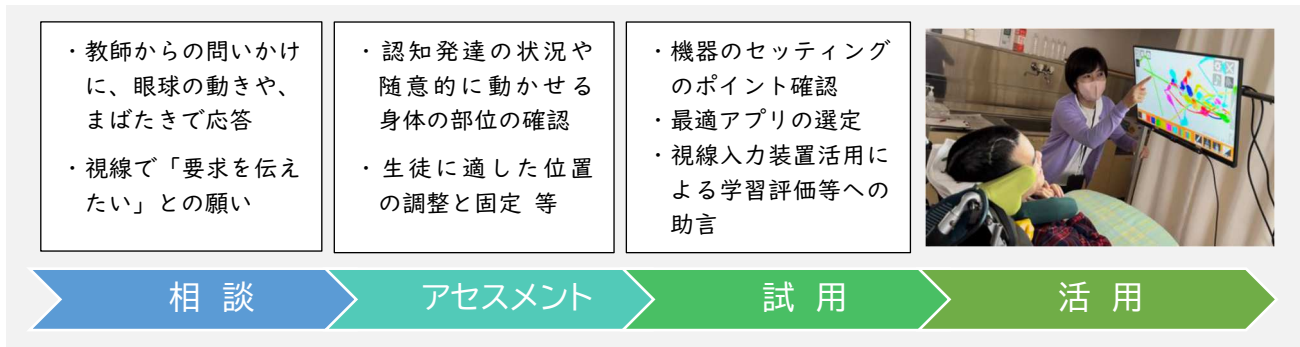


「長野県特別支援教育ICT活用支援サイト」に、センターの情報も掲載しています。

【長野県特別支援教育ICT・ATリソースセンターの支援内容】

ICT・AT を活用した「相談 – アセスメント – 試用 – 活用」のトータル支援を行います。

○ 重度・重複障がいの生徒への「視線入力装置」(導入期)の支援(例)



この他にも、様々な支援機器等があります

<支援機器やアプリケーションの紹介> センターにある機器の例

先進的な機器

マジックカーペット

床やテーブルに投影されたゲームやアクティビティー映像の上で、体を動かす等で、様々な体験や学習ができる

⇒ 知覚体験・遊び・セラピー



トビーTDパイロット

iPad 組込み型視線入力装置

会話文のボタンを見ることで、読み上げたり、文字を表示したりして意思伝達

⇒ 言いたい事を容易に伝えられる



アクセシビリティ機器

ポイントタッチスイッチ

静電気にも感知するスイッチ

重度・重複障がいのある児童生徒が頬やあご等を軽く触れるだけで動作

⇒ PC や玩具を操作ができる



ジョイスティックマウス

指先やあご等の小さな動き、弱い力でカーソル操作できるマウス

⇒ PC・タブレット使用が容易



iPad 用アプリケーション (知的障がい)

Drop Tap

シボルト「タップス」2000 語が音声と共に収録(コミュニケーション支援アプリ)
⇒ イラスト・図等使い、意思表示ができる

音韻認識力をはぐくむ! ひらがなトレーニング

クイズ形式で学習をしながら、「音韻認識力」を高めるアプリ

iPad 用アプリケーション (発達障がい)

多層指導モデル MIM

MIM 指導を受けている児童生徒を対象としたアセスメントとトレーニングアプリ

*MIM: 読みの苦手克服支援パッケージ

こども脳機能バランサー

13 のパズルゲームで、注意力・言語力・空間認知力をバランスよくトレーニング(アプリ)